

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	2-2401
研究課題名	日本・アジア太平洋地域の将来変化に関わる複合的な極端気象・気候現象の定量化と理解
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	北海道大学
研究代表者名	堀之内武

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

全球気候に関わる現在利用できるすべてのデータとモデリング結果を用いて複合的な要因やイベントから派生する日本・アジア太平洋域における極端気象が分析され、テレコネクションや太平洋十年規模変動や地域の極端現象との関連が議論された。これらは当領域でのこれまでの複合影響や乾燥と熱波、蒸し暑さなど様々な極端現象の予測やメカニズム把握に役立つ成果と考えられる。モデル不確実性の手法開発も評価できる。論文・国民との対話・報道活動も活発であった。一方で、課題の体系、構成や連携の観点からは現状のサブテーマの切り分け（「対流圏・成層圏」、「アジアモンスーン」、「大陸・海盆規模」）が分野の現象全体をカバーしているのか等理解しづらい点がある。今後、複合的な極端気象・気候現象という分野の体系化や各課題の位置づけを明確にさせていただき、加えて、社会及び環境行政への活用の観点からの整理・伝達の方法、知見の網羅性の観点での総括（或いは不足点の指摘）を意識した研究の進展及び成果のまとめを期待したい。